



香川高等専門学校		開講年度	平成27年度 (2015年度)	授業科目	日本語		
科目基礎情報							
科目番号	0011		科目区分	一般 / 必修			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2			
開設学科	一般教育科 (託問)		対象学年	3			
開設期	通年		週時間数	2			
教科書/教材							
担当教員	須賀 淳子						
到達目標							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1							
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点							
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
後期	3rdQ	1週					
		2週					
		3週					
		4週					
		5週					
		6週					
		7週					
		8週					
	4thQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

香川高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	保健・体育IV
<b>科目基礎情報</b>					
科目番号	0001		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	一般教育科 (託問)		対象学年	4	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	教科書「アクティブスポーツ」(総合版) 大修館書店				
担当教員	有馬 弘智, 横山 学				
<b>到達目標</b>					
1. ゲーム成立のためリーダーシップを発揮して仲間をまとめることができる。 また、リーダーに対して協力できる。 ゲームを運営できる。					
<b>ルーブリック</b>					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	審判としてプレイの判定ができたうえで、ゲーム成立のためリーダーシップを発揮できる。		ゲーム成立のためリーダーシップを発揮できる。		ゲーム成立のためリーダーシップを発揮する人に協力できない。
評価項目2					
評価項目3					
<b>学科の到達目標項目との関係</b>					
学習・到達目標 f 学習成果 f1 学習成果 f2 学習成果 f3					
<b>教育方法等</b>					
概要					
授業の進め方・方法	それぞれの種目の基礎技術は下級生時に修得しているため、ゲーム中心の内容で授業を実施。その中で各種目の運動理論をより深く理解し、個人の基礎技術の向上、審判技術のレベル向上を目指す。また、自分の興味ある種目を選択させることで、社会体育への継続を目指す。				
注意点	天候により授業内容の変更があるため、常に屋外・屋内どちらでもできるように準備する。授業参加には、運動に望ましい服装およびシューズの準備、ケガ予防の観点から装飾品を着用しない等の要件を満たすことが必須である。				
<b>授業計画</b>					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション 選択種目の決定 スポーツテスト(1)		
		2週	スポーツテスト(2)		
		3週	【ソフトボール・テニス】 ゲーム(1)		
		4週	ゲーム(2)		
		5週	ゲーム(3)		
		6週	ゲーム(4)		
		7週	ゲーム(5)		
		8週	ゲーム(6)		
	2ndQ	9週	実技試験 【ゴルフ・バドミントン・卓球】 ゲーム(1)		
		10週	ゲーム(2)		
		11週	ゲーム(3)		
		12週	ゲーム(4)		
		13週	ゲーム(5)		
		14週	ゲーム(6)		
		15週	ゲーム(7) 実技試験		
		16週			
後期	3rdQ	1週	【バスケットボール・バレーボール】 オリエンテーション 体育祭の練習		
		2週	体育祭(1)		
		3週	体育祭(2)		
		4週	体育祭(3)		
		5週	ゲーム(1)		
		6週	ゲーム(2)		
		7週	ゲーム(3)		
		8週	ゲーム(4)		
	4thQ	9週	ゲーム(5)		
		10週	実技試験 【サッカー・ゴルフ】 ゲーム(1)		
		11週	ゲーム(2)		
		12週	ゲーム(3)		

	13週	ゲーム(4)	
	14週	ゲーム(5)	
	15週	ゲーム(6) 実技試験	
	16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

香川高等専門学校	開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	数学概論Ⅱ
科目基礎情報				
科目番号	0004	科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	一般教育科 (読問)	対象学年	4	
開設期	後期	週時間数	2	
教科書/教材	教員作成プリントによる問題集, 今までに使用した教科書			
担当教員	南 貴之			

### 到達目標

一変数および多変数の微分積分学, 線形代数学の復習を通じて学力の向上を図り, 編入学生の勉学を助けると共に大学へ編入するのに十分な実力を養成する。

### ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1 ベクトル空間の定義を理解し, その応用ができる。	ベクトル空間の定義を理解し, その応用ができる。	ベクトル空間の定義を理解し, その応用がある程度できる。	ベクトル空間の定義を理解し, その応用ができない。
評価項目2			
評価項目3			

### 学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達目標 d 学習成果 d1

### 教育方法等

概要	一変数および多変数の微分積分学, 線形代数学の復習を通じて学力の向上を図り, 編入学生の勉学を助けると共に大学へ編入するのに十分な実力を養成する。
授業の進め方・方法	前半は, これまでの授業では編入問題を解くには不十分な項目について講義を中心に問題演習を行う。後半は3年までの授業内容の復習・補完をし, 数学の学力の向上と定着を図る。 これにより, 本校への編入学生や大学へ編入を希望する学生の指導に資する。
注意点	時間数が少ないので, できる限り独力で多くの問題を解き, 添削を受けたり質問をしたりすることを期待する。

### 授業計画

	週	授業内容	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	行列・行列式	行列・行列式の計算およびそれらの応用ができる
		2週	ベクトル空間と基底	ベクトル空間の定義を理解し, その応用ができる。
		3週	ベクトル空間と基底	
		4週	部分空間	
		5週	一次変換と行列	
		6週	固有値と 固有多項式・最小多項式	固有値・固有ベクトルの計算およびそれらの応用ができる。
		7週	対角化	
		8週	後期中間試験	
	4thQ	9週	一階微分方程式	
		10週	二階線形微分方程式	与えられた微分方程式の解を求めることができる。
		11週	二階線形微分方程式	与えられた微分方程式の解を求めることができる。
		12週	偏微分	偏微分の計算およびそれらの応用ができる。
		13週	偏微分	
		14週	重積分	重積分の計算およびそれらの応用ができる。
		15週	重積分	
		16週	後期末試験	

### モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

### 評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	90	0	0	0	10	0	100
基礎的能力	90	0	0	0	10	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

香川高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	中国語 I
科目基礎情報					
科目番号	0006		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	一般教育科 (託問)		対象学年	4	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	「一年生のころ (ビデオで学ぶ入門中国語)」改訂版				
担当教員	南 貴之, 前崎 麗				
到達目標					
中国語の発音, 日常用語, 基礎的な文法を学習し, 簡単な会話と文章を書ける能力を養成する。また中国語の学習を通じて中国社会のことを紹介する。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1 中国語の特徴, 学習法を習得し, 発音を身につける。	中国語の特徴, 学習法を習得し, 発音を身につける。		中国語の特徴, 学習法を習得し, 発音のある程度身につける。		中国語の特徴, 学習法を習得し, 発音を身につけることができない。
評価項目2 中国語の特徴, 学習法を習得し, 発音を身につける。	中国語の特徴, 学習法を習得し, 発音を身につける。		中国語の特徴, 学習法を習得し, 発音のある程度身につける。		中国語の特徴, 学習法を習得し, 発音を身につけることができない。
評価項目3					
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達目標 b 学習成果 b1					
教育方法等					
概要	中国語の発音, 日常用語, 基礎的な文法を学習し, 簡単な会話と文章を書ける能力を養成する。また中国語の学習を通じて中国社会のことを紹介する。				
授業の進め方・方法	各学習項目ごとに, 学習内容の解説とその関連事項を講義する。その講義を基に, 繰り返し練習を行い, 現実に使われている中国語に慣れる。語彙力並びに文章構築力を高めるための活動をする。前期は, 中国語の入門 (発音・語彙, 日常用語, 簡単な文法) を行い, 後期は実用的文法 (簡単な会話, 簡単な文章) を行う。				
注意点					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション、中国語概説		
		2週	発音	中国語の特徴, 学習法を習得し, 発音を身につける。	
		3週	発音		
		4週	発音		
		5週	発音		
		6週	発音		
		7週	発音		
		8週	発音		
	2ndQ	9週	第1課「是」人称代名詞	あいさつなど定型的な日常会話の語彙・文法を理解することができ会話をおこなえる。	
		10週	第1課「是」人称代名詞		
		11週	第2課「指示代名詞」「也」		
		12週	第2課「指示代名詞」「也」		
		13週	第4課「形容詞述語文」		
		14週	第4課「形容詞述語文」		
		15週	「副詞」 前期の学習をまとめ		
		16週	前期末試験		
後期	3rdQ	1週	第5課「比較文」		
		2週	第5課「比較文」		
		3週	第5課「比較文」		
		4週	第6課「有、在の表現」	日常的な会話にでてくる単語や文法を理解し会話ができる。	
		5週	第6課「有、在の表現」		
		6週	第6課「有、在の表現」		
		7週	第7課「年月日の言い方、時刻の言い方」		
		8週	第7課「年月日の言い方、時刻の言い方」		
	4thQ	9週	第7課「年月日の言い方、時刻の言い方」		
		10週	第8課「了」の表現		
		11週	第8課「了」の表現		
		12週	第8課「了」の表現		
		13週	「進行形の表し方」		
		14週	「進行形の表し方」		
		15週	後期の学習をまとめ	状況に応じた簡単な会話ができる	
		16週	後期末試験		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	80	0	0	0	20	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

香川高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	社会特論 I
科目基礎情報					
科目番号	0007		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	一般教育科 (託問)		対象学年	4	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	なし				
担当教員	山岡 健次郎, 石丸 健				
到達目標					
世界は大量生産・消費による環境破壊, 人口爆発と貧困, グローバル経済と諸紛争, テクノロジーの発達に起因する負の影響など, 諸問題が山積している。このような諸問題が即, 日常生活レベルと通底していることが極めて現代の特徴であり, 今こそクールな情熱と豊かな総合知としての哲学が求められている時代は他にない。豊富な思考資料の下, 豊かな試行錯誤を心掛けたい。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	人類が直面している諸問題を哲学的な観点から深く理解し, その根源を論じることができる。		人類が直面している諸課題を哲学的な観点から深く理解している。		人類が直面している諸課題について哲学的に思考する力が十分に身についていない。
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達目標 a 学習成果 a1					
教育方法等					
概要	個体発生は系統発生を要約して繰り返す(ハック)と言われるように, 個人の精神史と世界のそれとは局面はどうであれ関連している。哲学概説を兼ねて哲学する意味を考えたい。世界内存在としての自己と諸問題, そして哲学的知の拡がりに思いを馳せる。西洋哲学史を歴史的に鳥瞰しつつ哲学と時代を考察する。				
授業の進め方・方法	講義形式。学生との議論も積極的に行っていく。				
注意点					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	哲学概説	自己を形成している精神内容を見つめる眼と 他者理解の態度を涵養する。	
		2週	個人史としての哲学	自己を形成している精神内容を見つめる眼と 他者理解の態度を涵養する。	
		3週	現代世界の諸課題と哲学 (1)	世界の諸問題と世界内存在としての自己。	
		4週	現代世界の諸課題と哲学 (2)	世界の諸問題と世界内存在としての自己。	
		5週	現代世界の諸課題と哲学 (3)	世界の諸問題と世界内存在としての自己。	
		6週	哲学知の様々なあり方 (1)	さまざまな知的在り方があること理解する。	
		7週	哲学知の様々なあり方 (2)	さまざまな知的在り方があること理解する。	
		8週	西洋哲学史概説	歴史的変遷によりさまざまな思想が誕生し, 時代の役割を果たした事を知る。	
	2ndQ	9週	神話的世界	歴史的変遷によりさまざまな思想が誕生し, 時代の役割を果たした事を知る。	
		10週	ソクラテス以前	歴史的変遷によりさまざまな思想が誕生し, 時代の役割を果たした事を知る。	
		11週	ソクラテス	歴史的変遷によりさまざまな思想が誕生し, 時代の役割を果たした事を知る。	
		12週	プラトン	歴史的変遷によりさまざまな思想が誕生し, 時代の役割を果たした事を知る。	
		13週	アリストテレス	歴史的変遷によりさまざまな思想が誕生し, 時代の役割を果たした事を知る。	
		14週	ヘレニズム哲学	歴史的変遷によりさまざまな思想が誕生し, 時代の役割を果たした事を知る。	
		15週	神学	歴史的変遷によりさまざまな思想が誕生し, 時代の役割を果たした事を知る。	
		16週	前期期末試験	前期の内容の理解度を確認する。	
後期	3rdQ	1週	近代的哲学と科学的思考	哲学と科学的思考の不可分性と科学的思考を産出した西洋哲学の特性について考える。	
		2週	デカルト	哲学と科学的思考の不可分性と科学的思考を産出した西洋哲学の特性について考える。	
		3週	大陸合理論	哲学と科学的思考の不可分性と科学的思考を産出した西洋哲学の特性について考える。	
		4週	イギリス経験論	哲学と科学的思考の不可分性と科学的思考を産出した西洋哲学の特性について考える。	
		5週	カント	哲学と科学的思考の不可分性と科学的思考を産出した西洋哲学の特性について考える。	
		6週	ヘーゲル	哲学と科学的思考の不可分性と科学的思考を産出した西洋哲学の特性について考える。	
		7週	キルケゴール	混迷の度を深める現代世界, 総合知・世界観としての哲学の重要性を知る。	
		8週	マルクス	混迷の度を深める現代世界, 総合知・世界観としての哲学の重要性を知る。	
	4thQ	9週	ニーチェ	混迷の度を深める現代世界, 総合知・世界観としての哲学の重要性を知る。	

	10週	現代哲学	混迷の度を深める現代世界，総合知・世界観としての哲学の重要性を知る。
	11週	フッサール	混迷の度を深める現代世界，総合知・世界観としての哲学の重要性を知る。
	12週	ハイデガー	混迷の度を深める現代世界，総合知・世界観としての哲学の重要性を知る。
	13週	総合知、世界観としての哲学（1）	混迷の度を深める現代世界，総合知・世界観としての哲学の重要性を知る。
	14週	総合知、世界観としての哲学（2）	混迷の度を深める現代世界，総合知・世界観としての哲学の重要性を知る。
	15週	東洋的形而上学	世界の偉大な知的伝統の十字路口である日本とは何か
	16週	後期期末試験	後期の内容の理解度を確認する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

香川高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	自然特論		
科目基礎情報							
科目番号	0071		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	一般教育科 (託問)		対象学年	5			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材	力学の考え方 (砂川重信著) 岩波書店、量子力学の考え方 (砂川重信著) 岩波書店						
担当教員	黒木 経秀,野村 大輔						
到達目標							
微分方程式を用いたニュートン力学と量子論の初歩について学ぶ。微分方程式によるニュートン力学と量子論を通して自然界の構成についての理解を深める。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安			
評価項目1		ニュートン力学を微分方程式に即して理解し、計算ができる。	ニュートン力学を微分方程式に即して理解する。	ニュートン力学を微分方程式に即して理解していない。			
評価項目2		量子力学の基本的な考えを理解し、計算ができる。	量子力学の基本的な考えを理解している。	量子力学の基本的な考えを理解していない。			
評価項目3		簡単なシュレーディンガー方程式が解ける。	簡単なシュレーディンガー方程式が解ける。	簡単なシュレーディンガー方程式が解けない。			
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	微分方程式を用いたニュートン力学と量子論の初歩について学ぶ。微分方程式によるニュートン力学と量子論を通して自然界の構成についての理解を深める。						
授業の進め方・方法	講義により基本的な事柄を説明する。レポート課題を課す。						
注意点							
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	微分方程式によるニュートン力学	平面内を移動する質点の運動を、位置ベクトルの変化として理解している。座標を時間で微分し、速度や加速度を求めることができる。			
		2週	ニュートン方程式の解法	ニュートン力学を微分方程式に即して理解する。			
		3週	保存量の考え方	保存量の考え方を理解する。			
		4週	量子論とは何か	量子力学の基本的な考えを理解する。			
		5週	光の粒子性、粒子の波動性	波動性と粒子性について理解する。			
		6週	波動力学	波動性と粒子性について理解する。			
		7週	シュレーディンガー方程式	シュレーディンガー方程式の導出を理解する。			
		8週	確率解釈	量子力学において物理量がどのように与えられるか理解する。			
	2ndQ	9週	演算子と物理量	量子力学において物理量がどのように与えられるか理解する。			
		10週	前期中間試験	ニュートン力学を微分方程式に即して理解する。量子力学の基本的な考えを理解する。波動性と粒子性について理解する。シュレーディンガー方程式の導出を理解する。量子力学において物理量がどのように与えられるか理解する。			
		11週	答案返却・解説	ニュートン力学を微分方程式に即して理解する。量子力学の基本的な考えを理解する。波動性と粒子性について理解する。シュレーディンガー方程式の導出を理解する。量子力学において物理量がどのように与えられるか理解する。			
		12週	一次元ポテンシャルとシュレーディンガー方程式1	簡単なシュレーディンガー方程式が解けるようになる。			
		13週	一次元ポテンシャルとシュレーディンガー方程式2	簡単なシュレーディンガー方程式が解けるようになる。			
		14週	三次元におけるシュレーディンガー方程式	簡単なシュレーディンガー方程式が解けるようになる。			
		15週	前期期末試験	簡単なシュレーディンガー方程式が解けるようになる。			
		16週	答案返却・解説	簡単なシュレーディンガー方程式が解けるようになる。			
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
基礎的能力	自然科学	物理	力学	平面内を移動する質点の運動を位置ベクトルの変化として扱うことができる。	2	前1	
				物体の変位、速度、加速度を微分・積分を用いて相互に計算することができる。	2	前1	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	40	0	100
基礎的能力	60	0	0	0	40	0	100

専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

香川高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	保健・体育V
<b>科目基礎情報</b>					
科目番号	0072	科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	一般教育科 (託問)	対象学年	5		
開設期	後期	週時間数	2		
教科書/教材	教科書「アクティブスポーツ」(総合版) 大修館書店				
担当教員	有馬 弘智, 横山 学				
<b>到達目標</b>					
1. ゲーム成立のためリーダーシップを発揮して仲間をまとめることができる。 また、リーダーに対して協力できる。 ゲームを運営できる。					
<b>ループリック</b>					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	審判としてプレイの判定ができたうえで、ゲーム成立のためリーダーシップを発揮できる。	ゲーム成立のためリーダーシップを発揮できる。	ゲーム成立のためリーダーシップを発揮する人に協力できない。		
<b>学科の到達目標項目との関係</b>					
<b>教育方法等</b>					
概要	いろんなスポーツを体験し技術や理論を理解するとともに、スポーツの必要性を理解する。				
授業の進め方・方法	それぞれの種目の基礎技術は下級生時に修得しているため、ゲーム中心の内容で授業を実施。その中で各種目の運動理論をより深く理解し、個人の基礎技術の向上、審判技術のレベル向上を目指す。また、自分の興味ある種目を選択させることで、社会体育への継続を目指す。				
注意点	天候により授業内容の変更があるため、常に屋外・屋内どちらでもできるように準備する。授業参加には、運動に望ましい服装およびシューズの準備、ケガ予防の観点から装飾品を着用しない等の要件を満たすことが必須である。				
<b>授業計画</b>					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション 選択種目の決定	後期選択種目を確定させるとともに、受講する上で守るルールを確認する	
		2週	体育祭の練習 体育祭(1)	個々の運動能力を発揮するとともに、他の学生と協調しながら積極的にスポーツに取り組む姿勢を養う	
		3週	体育祭(2)	個々の運動能力を発揮するとともに、他の学生と協調しながら積極的にスポーツに取り組む姿勢を養う	
		4週	スポーツテスト(1)	毎年測定することにより、自分自身の運動能力を把握し、運動能力の向上を目指す	
		5週	スポーツテスト(2)	毎年測定することにより、自分自身の運動能力を把握し、運動能力の向上を目指す	
		6週	【サッカー・バスケ・ソフトバレー・バドミントン(・ゴルフ)】 ゲーム(1)	正しいゲームの運営を行い、個人の技術、審判技術の向上を目指す。	
		7週	ゲーム(2)	正しいゲームの運営を行い、個人の技術、審判技術の向上を目指す。	
		8週	ゲーム(3)	正しいゲームの運営を行い、個人の技術、審判技術の向上を目指す。	
	4thQ	9週	ゲーム(4)	正しいゲームの運営を行い、個人の技術、審判技術の向上を目指す。	
		10週	ゲーム(5)	正しいゲームの運営を行い、個人の技術、審判技術の向上を目指す。	
		11週	ゲーム(6)	正しいゲームの運営を行い、個人の技術、審判技術の向上を目指す。	
		12週	ゲーム(7)	正しいゲームの運営を行い、個人の技術、審判技術の向上を目指す。	
		13週	ゲーム(8)	正しいゲームの運営を行い、個人の技術、審判技術の向上を目指す。	
		14週	ゲーム(9)	正しいゲームの運営を行い、個人の技術、審判技術の向上を目指す。	
		15週	実技試験	正しいゲームの運営を行い、個人の技術、審判技術の向上を目指す。	
		16週			
<b>モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標</b>					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	相手の意見を聞き、自分の意見を伝えることで、円滑なコミュニケーションを図ることができる。	2	
			相手を理解した上で、説明の方法を工夫しながら、自分の意見や考えをわかりやすく伝え、十分な理解を得ている。	2	
			集団において、集団の意見を聞き、自分の意見も述べ、目的のために合意形成ができる。	2	
			目的達成のために、考えられる提案の中からベターなものを選び合意形成の上で実現していくことができ、さらに、合意形成のための支援ができる。	2	
<b>評価割合</b>					

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	50	0	0	50	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

香川高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	数学概論Ⅲ		
科目基礎情報							
科目番号	0089	科目区分	一般 / 選択				
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1				
開設学科	一般教育科 (託問)	対象学年	5				
開設期	後期	週時間数	2				
教科書/教材	今吉洋一「複素関数概説」 (サイエンス社)						
担当教員	南 貴之						
到達目標							
複素関数の解析学, すなわち複素関数論は, 理工学において広い応用をもつことから, 基礎的な教養として一度学んでおく必要がある。本科目では, 実関数の積分への応用を主要なテーマとして, 複素関数論への入門となる内容を学習する。その学習を通して, 計算力の強化および数学的論理思考能力の養成を目指す。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安				
評価項目1 複素数の基本的な計算ができる。	複素数の基本的な計算ができる。	複素数の基本的な計算がある程度できる。	複素数の基本的な計算ができない。				
評価項目2 基本的な複素関数の微積分が計算できる。	基本的な複素関数の微積分が計算できる。	基本的な複素関数の微積分がある程度計算できる。	基本的な複素関数の微積分が計算できない。				
評価項目3 コーシーの積分定理を理解できる。	コーシーの積分定理を理解できる。	コーシーの積分定理をある程度理解できる。	コーシーの積分定理を理解できない。				
評価項目4 留数の基本的な計算ができる。	留数の基本的な計算ができる。	留数の基本的な計算がある程度できる。	留数の基本的な計算ができない。				
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	指定教科書に沿って学習内容を解説していく講義形式。小テストやレポート作成を通して学習内容の定着を図る。各自の自主的な予習復習は必須。						
授業の進め方・方法	指定教科書に沿って学習内容を解説していく講義形式。小テストやレポート作成を通して学習内容の定着を図る。各自の自主的な予習復習は必須。						
注意点	時間数が少ないので, できる限り独力で多くの問題を解き, 添削を受けたり質問をしたりすることを期待する。						
授業計画							
	週	授業内容	週ごとの到達目標				
後期	3rdQ	1週	行列・行列式	行列・行列式の計算およびそれらの応用ができる			
		2週	ベクトル空間と基底	ベクトル空間の定義を理解し, その応用ができる。			
		3週	ベクトル空間と基底				
		4週	部分空間				
		5週	一次変換と行列				
		6週	固有値と 固有多項式・最小多項式	固有値・固有ベクトルの計算およびそれらの応用ができる。			
		7週	対角化				
		8週	後期中間試験				
	4thQ	9週	一階微分方程式				
		10週	二階線形微分方程式	与えられた微分方程式の解を求めることができる。			
		11週	二階線形微分方程式	与えられた微分方程式の解を求めることができる。			
		12週	偏微分	偏微分の計算およびそれらの応用ができる。			
		13週	偏微分				
		14週	重積分	重積分の計算およびそれらの応用ができる。			
		15週	重積分				
		16週	後期末試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	80	0	0	0	20	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

香川高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	英語特論Ⅱ
<b>科目基礎情報</b>					
科目番号	0090		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	一般教育科 (託問)		対象学年	5	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	1. Fundamental Science in English (成美堂), 2. 自作プリント				
担当教員	畑 伸興				
<b>到達目標</b>					
リスニング、リーディングを中心に、読む、書く、聞く、話すの4技能全ての向上を目指し、国際人として相応しい語学力 (英検準2級から2級、もしくはTOEIC350点程度、および教養を身につける。					
<b>ルーブリック</b>					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	自分の専門分野に関する内容について、はっきりとした発音で説明されれば、その概要や実験・作業の手順を理解することができる。	自分の専門分野に関する内容について、はっきりとした発音で説明されれば、その概要や実験・作業の手順を理解することができる。	自分の専門分野に関する内容について、はっきりとした発音で説明されれば、その概要や実験・作業の手順を理解することができない。		
評価項目2	論文やマニュアルなど、自分の専門分野に関する文章を、辞書を使いながら読めば、その概要や必要な情報を理解できる。外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語(Y.L.1.2以上)を辞書無しで読むことができる。	論文やマニュアルなど、自分の専門分野に関する文章を、辞書を使いながら読めば、その概要や必要な情報を理解できる。外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語(Y.L.1.2以上)を辞書無しで読むことができる。	論文やマニュアルなど、自分の専門分野に関する文章を、辞書を使いながら読めば、その概要や必要な情報を理解できない。外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語(Y.L.1.2以上)を辞書無しで読むことができない。		
評価項目3	自分の専門分野に関して、平易な英語でプレゼンを行い、内容に関して簡単なやり取りができる。	自分の専門分野に関して、平易な英語でプレゼンを行い、内容に関して簡単なやり取りができる。	自分の専門分野に関して、平易な英語でプレゼンを行い、内容に関して簡単なやり取りができない。		
評価項目4	自分の専門分野に関する英文アブストラクトやプレゼン用の英文資料を、基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	自分の専門分野に関する英文アブストラクトやプレゼン用の英文資料を、基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	自分の専門分野に関する英文アブストラクトやプレゼン用の英文資料を、基礎的な語彙や表現を使って書くことができない。		
<b>学科の到達目標項目との関係</b>					
<b>教育方法等</b>					
概要	1. 正確に英文が表す意味を理解できるように、英文読解力の向上を目標とする。 2. 文法や語法の問題・聴解演習を行い、TOEICや英検に対応できる英語力を高めることを目標とする。				
授業の進め方・方法	1. 科学的な英文を読み、読解力の強化を図る。 2. TOEIC テスト対策を行う。(文法・語法中心)				
注意点	オフィスアワーは火曜日				
<b>授業計画</b>					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス	自分の専門分野に関する内容について、はっきりとした発音で説明されれば、その概要や実験・作業の手順を理解することができる。	
		2週	Lesson 1	論文やマニュアルなど、自分の専門分野に関する文章を、辞書を使いながら読めば、その概要や必要な情報を理解できる。外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語(Y.L.1.2以上)を辞書無しで読むことができる。	
		3週	Lesson 2		
		4週	Lesson 3		
		5週	TOEIC 対策		
		6週	TOEIC 対策		
		7週	TOEIC 対策		
		8週	前期中間試験		
	2ndQ	9週	試験返却・解説		
		10週	Lesson 4	自分の専門分野に関して、平易な英語でプレゼンを行い、内容に関して簡単なやり取りができる。	
		11週	Lesson 5		
		12週	Lesson 5		
		13週	TOEIC 対策		
		14週	TOEIC 対策		
		15週	TOEIC 対策		
		16週	前期末試験		
後期	3rdQ	1週	Lesson 6	自分の専門分野に関する英文アブストラクトやプレゼン用の英文資料を、基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	
		2週	Lesson 7		
		3週	Lesson 8		

		4週	TOEIC 対策	
		5週	TOEIC 対策	
		6週	TOEIC 対策	
		7週	TOEIC 対策	
		8週	後期中間試験	
	4thQ	9週	試験返却と解説	
		10週	Lesson 9	自分の専門分野に関する英文アブストラクトやプレゼン用の英文資料を、基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。
		11週	Lesson 10	
		12週	TOEIC 対策	
		13週	TOEIC 対策	
		14週	TOEIC 対策	
		15週	TOEIC 対策	
		16週	後期末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	80	0	0	0	20	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

香川高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	グローバル・スタディーズ
<b>科目基礎情報</b>					
科目番号	0091	科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	一般教育科 (託問)	対象学年	5		
開設期	通年	週時間数	2		
教科書/教材	『よくわかるジェンダー・スタディーズ』 (木村涼子他)、『グローバル化とは何か』 (D・ヘルド)				
担当教員	山岡 健次郎,内田 由理子				
<b>到達目標</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル化の進展する現代世界を考察するための基本的な視点を身につける。</li> <li>・ジェンダー概念の重要性を学び、国境を越えた国際的な諸課題を自分の問題として考える。</li> <li>・政治・経済・文化といった諸領域の関係性をグローバルな文脈から読み解いていく。</li> </ul>					
<b>ルーブリック</b>					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	グローバル化の進展する現代社会を読み解くための基本的な視座を用いて具体的な問題を考察できる。	グローバル化の進展する現代社会を考察するための基本的な視座が身につけている。	グローバルな現代社会を考察するための基本的な視座に欠ける。		
評価項目2	ジェンダー概念の重要性を理解し、そうした観点から問題を論じることができる。	ジェンダー概念の重要性を理解している。	ジェンダー概念の重要性が理解できていない。		
評価項目3	領域横断的にグローバルな視座を活用できる。	領域横断的なグローバルな視座が身につけている。	グローバルな視座を身につけることができていない。		
<b>学科の到達目標項目との関係</b>					
<b>教育方法等</b>					
概要	講義形式で授業は行っていくが、重要なトピックに関しては、学生との議論を通して論点の整理を行っていく。また、必要に応じて視聴覚教材も活用していく。学期末試験とその他、適宜レポートなどの提出物を課す。				
授業の進め方・方法	講義形式で授業は行っていくが、重要なトピックに関しては、学生との議論を通して論点の整理を行っていく。また、必要に応じて視聴覚教材も活用していく。				
注意点	前期では具体的な社会問題 (重たいテーマも含む) を取り上げ、後期では理論的な問題を中心に扱っていく。オフィス・アワー (月曜 16:00~17:00)				
<b>授業計画</b>					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ジェンダー概念	貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。	
		2週	メディアとジェンダー	貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。	
		3週	貧困・教育とジェンダー	貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。	
		4週	性と生殖に関する健康と権利 (1)	貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。	
		5週	性と生殖に関する健康と権利 (2)	貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。	
		6週	暴力とジェンダー (1)	貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。	
		7週	暴力とジェンダー (2)	貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。	
		8週	暴力とジェンダー (3)	貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。	
	2ndQ	9週	暴力とジェンダー (4)	貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。	

		10週	結婚とジェンダー	貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。		
		11週	宗教とジェンダー	貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。		
		12週	農村開発とジェンダー	貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。		
		13週	結婚とジェンダー	貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。		
		14週	政策とジェンダー	貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。		
		15週	前期のまとめ	貧困・教育・健康・暴力・開発・南北問題・人権をテーマに扱い、国連等の国際的な動向も視野におきながら、市民社会のあり方、NGO・NPOの役割、男女共同参画社会を目指す私たちの生き方について展望する。		
		16週	前期期末試験	前期の内容の理解度を確認する。		
		後期	3rdQ	1週	グローバリゼーションとは何か（1）	グローバリゼーションと呼ばれる現象が、文化・経済・政治などの諸領域にどういった影響を与えているのかを理解し、国家や国境を越えた認識枠組みを身につける。
				2週	グローバリゼーションとは何か（2）	グローバリゼーションと呼ばれる現象が、文化・経済・政治などの諸領域にどういった影響を与えているのかを理解し、国家や国境を越えた認識枠組みを身につける。
				3週	文化とグローバリゼーション（1）	グローバリゼーションと呼ばれる現象が、文化・経済・政治などの諸領域にどういった影響を与えているのかを理解し、国家や国境を越えた認識枠組みを身につける。
				4週	文化とグローバリゼーション（2）	グローバリゼーションと呼ばれる現象が、文化・経済・政治などの諸領域にどういった影響を与えているのかを理解し、国家や国境を越えた認識枠組みを身につける。
				5週	文化とグローバリゼーション（3）	グローバリゼーションと呼ばれる現象が、文化・経済・政治などの諸領域にどういった影響を与えているのかを理解し、国家や国境を越えた認識枠組みを身につける。
				6週	経済とグローバリゼーション（1）	グローバリゼーションと呼ばれる現象が、文化・経済・政治などの諸領域にどういった影響を与えているのかを理解し、国家や国境を越えた認識枠組みを身につける。
				7週	経済とグローバリゼーション（2）	グローバリゼーションと呼ばれる現象が、文化・経済・政治などの諸領域にどういった影響を与えているのかを理解し、国家や国境を越えた認識枠組みを身につける。
				8週	グローバルな人の移動（1）	グローバリゼーションと呼ばれる現象が、文化・経済・政治などの諸領域にどういった影響を与えているのかを理解し、国家や国境を越えた認識枠組みを身につける。
			4thQ	9週	グローバルな人の移動（2）	グローバリゼーションと呼ばれる現象が、文化・経済・政治などの諸領域にどういった影響を与えているのかを理解し、国家や国境を越えた認識枠組みを身につける。
10週	グローバルな人の移動（3）			グローバリゼーションと呼ばれる現象が、文化・経済・政治などの諸領域にどういった影響を与えているのかを理解し、国家や国境を越えた認識枠組みを身につける。		
11週	政治とグローバリゼーション（1）			グローバリゼーションと呼ばれる現象が、文化・経済・政治などの諸領域にどういった影響を与えているのかを理解し、国家や国境を越えた認識枠組みを身につける。		
12週	政治とグローバリゼーション（2）			グローバリゼーションと呼ばれる現象が、文化・経済・政治などの諸領域にどういった影響を与えているのかを理解し、国家や国境を越えた認識枠組みを身につける。		
13週	国民国家を越えて（1）			グローバリゼーションと呼ばれる現象が、文化・経済・政治などの諸領域にどういった影響を与えているのかを理解し、国家や国境を越えた認識枠組みを身につける。		

		14週	国民国家を越えて（2）	グローバリゼーションと呼ばれる現象が、文化・経済・政治などの諸領域にどういった影響を与えているのかを理解し、国家や国境を越えた認識枠組みを身につける。
		15週	後期期末試験	後期の内容の理解度を確認する。
		16週	総括	一年間の総括を行う。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	70	0	0	0	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

香川高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	中国語Ⅱ
科目基礎情報					
科目番号	0221		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	一般教育科 (託問)		対象学年	5	
開設期	通年		週時間数	2	
教科書/教材	「一年生のころ (ビデオで学ぶ入門中国語)」改訂版				
担当教員	南 貴之,前崎 麗				
到達目標					
中国語の常用表現の学習を通じて、中国語に関する基礎的な知識を理解させ、中国語の初歩的な応用能力を養成してもらう。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1 文に対する理解、中国語の初歩的理解力	文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成することができる。		文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成することができる程度できる。		文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成することができない。
評価項目2 初歩的作文の能力	初歩的作文の能力が身についている、		初歩的作文の能力をがある程度身につけている、		初歩的作文の能力が身につけていない、
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	中国語の常用表現の学習を通じて、中国語に関する基礎的な知識を理解させ、中国語の初歩的な応用能力を養成してもらう。				
授業の進め方・方法	各学習項目ごとに、学習内容の解説とその関連事項を講義する。その講義を基に、繰り返し練習を行い、現実に使われている中国語に慣れる。語彙力並びに文章構築力を高めるための活動をする。				
注意点	とくになし				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	第9課「了」の表現の復習	構文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成する。	
		2週	第9課「了」の表現の復習	構文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成する。	
		3週	「結果補語」	構文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成する。	
		4週	「結果補語」	構文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成する。	
		5週	第10課「会」「時量の言い方」	構文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成する。	
		6週	第10課「会」「時量の言い方」	構文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成する。	
		7週	第10課「会」「時量の言い方」	構文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成する。	
		8週	第11課「過」の使い方、「様態補語」	構文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成する。	
	2ndQ	9週	第11課「過」の使い方、「様態補語」	構文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成する。	
		10週	第11課「過」の使い方、「様態補語」	構文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成する。	
		11週	第12課「可能補語」、「能」	構文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成する。	
		12週	第12課「可能補語」、「能」	構文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成する。	
		13週	第12課「可能補語」、「能」	構文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成する。	
		14週	第12課「可能補語」、「能」	構文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成する。	
		15週	前期の学習をまとめ	構文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成する。	
		16週	前期期末試験	構文に対する理解を深め、中国語の初歩的理解力を養成する。	
後期	3rdQ	1週	第13課「」使役の使い方	初歩的作文の能力を養成する	
		2週	第13課「」使役の使い方	初歩的作文の能力を養成する	
		3週	第14課「存現文」	初歩的作文の能力を養成する	
		4週	第14課「存現文」	初歩的作文の能力を養成する	
		5週	第14課「存現文」	初歩的作文の能力を養成する	
		6週	第14課「存現文」	初歩的作文の能力を養成する	
		7週	第15課「もうすぐ～」の表現	初歩的作文の能力を養成する	
		8週	第15課「もうすぐ～」の表現	初歩的作文の能力を養成する	
	4thQ	9週	第15課「もうすぐ～」の表現	初歩的作文の能力を養成する	
		10週	第15課「もうすぐ～」の表現	初歩的作文の能力を養成する	
		11週	「」すべき	初歩的作文の能力を養成する	
		12週	「」すべき	初歩的作文の能力を養成する	

	13週	第16課「方向補語」	初歩的作文の能力を養成する
	14週	第16課「方向補語」	初歩的作文の能力を養成する
	15週	後期の学習をまとめ	初歩的作文の能力を養成する
	16週	後期末試験	初歩的作文の能力を養成する

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	80	0	0	0	20	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0